

2011年2月28日

記者各位

水素供給・利用技術研究組合

## 「FCV ハイヤー実証」の開始について

水素供給・利用技術研究組合（理事長：吉田正寛、以下「HySUT(ハイサット)」という。）は、経済産業省の「水素利用社会システム構築実証事業」のひとつである「水素ハイウェイプロジェクト」において成田空港と都心を結ぶFCVハイヤー実証を行っていますが、これに加え、2011年3月1日（火）より羽田空港と都心を結ぶFCVハイヤー実証を開始致します。

FCVハイヤー実証とは、自動車メーカーより提供された燃料電池自動車（FCV）の運行をハイヤー会社に委託し、高速道路を利用した定期的な車両運行を行うことで、公共輸送システムとしての燃料電池自動車の適用可能性を検討するものです。

今回開始するFCVハイヤー実証は、全日本空輸株式会社とイースタンエアポートモータース株式会社の協力を得て、羽田空港利用者の送迎を中心とした一般のハイヤーとして、また深夜・早朝時間帯の全日本空輸株式会社職員の送迎用ハイヤーとして、燃料電池自動車「X-TRAIL FCV」（日産自動車株式会社）を使用して行います。

燃料電池自動車は、従前の内燃機関に比べて高効率で、二酸化炭素の排出量を大きく低減することが可能な技術であり、将来の低炭素社会で重要な役割を果たすものとして期待されています。HySUTは、ハイヤー会社とその乗客の皆様にご覧に燃料電池自動車を体験していただくとともに、水素供給インフラの社会的受容性と事業成立性の課題を検証・解決し、水素供給事業の基盤確立に努めてまいります。

以上

添付資料1:「水素供給・利用技術研究組合」の概要

添付資料2:「FCVハイヤー実証」の概要

～ 本件に関するお問合せ先 ～

水素供給・利用技術研究組合 担当: 町井 金子

03-3560-2802

## 添付資料1

### 「水素供給・利用技術研究組合」の概要

- (1) 理事長 吉田 正寛  
(JX 日鉱日石エネルギー株式会社 執行役員 研究開発本部研究開発企画部長)
- (2) 所在地 東京都港区赤坂二丁目10番5号
- (3) 設立日 2009年7月31日
- (4) 事業内容 社会実証試験を通じた水素供給ビジネスの検証  
◆現在は経済産業省平成21年度「水素利用社会システム構築実証事業」の公募事業として、「水素ハイウェイプロジェクト」および「水素タウンプロジェクト」(北九州市)の2つの実証事業(事業期間:~2011年3月)を受託して実施中。
- (5) 参加企業 JX 日鉱日石エネルギー株式会社  
出光興産株式会社  
岩谷産業株式会社  
大阪ガス株式会社  
川崎重工業株式会社  
コスモ石油株式会社  
西部ガス株式会社  
昭和シェル石油株式会社  
太陽日酸株式会社  
東京ガス株式会社  
東邦ガス株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
日産自動車株式会社  
日本エア・リキード株式会社  
株式会社本田技術研究所  
三菱化工機株式会社  
財団法人エンジニアリング振興協会

#### ◆技術研究組合とは

産業技術に関する試験研究を共同して行うことを目的に、技術研究組合法(昭和36年5月6日法律第81号)に基づいて設立される法人。組合に参加する企業等の同志的結合の組織であり、試験研究を共同で行い、その成果を組合員が享受し合うことで組合員の共同利益を追求するという性格を有している。

## 添付資料2

### 「FCVハイヤー実証」の概要

- 【運行開始】 2011年3月1日(火)  
 【運行委託先】 イースタンエアポートモータース株式会社  
 〒144-0042 東京都大田区羽田旭町 1-3  
<http://www.eastern-ap.com/>

#### お車のご予約

- ウェブで : <http://www.eastern-ap.com/reservation.php>  
 お電話で : 03-6428-4874

- 【使用車両】 X-TRAIL FCV (日産自動車株式会社製)



(X-TRAIL FCV の外観)

車両	名称	X-TRAIL FCV
	全長/全幅/全高(mm)	4485 × 1770 × 1745
	重量(kg)	1790
性能	航続走行距離(km)	370
	最高速度(km/h)	150
燃料電池	種類	固体高分子形
	出力(kW)	90
モーター	種類	減速機一体型 同軸モーター
	最高出力(kW)	90
	最大トルク(N・m)	280
燃料	種類	圧縮水素ガス
	貯蔵方式	高圧水素容器
	最高充填圧力(MPa)	35
二次電池	種類	コンパクト リチウム イオン バッテリー

(X-TRAIL FCV の仕様)